

篠原メタル工房

鉄に魅せられて

大森の町並みを代官所の
ほうから歩くとすぐ左手に
「釜屋」という店に出会
います。

店の中を覗くと古民家の
風合いにマッチしたお香立
てや花瓶などの鉄のオブ
ジェたちがやさしく迎えて
くれます。

鉄という硬い素材である
にも関わらず、やわらかく、
落ち着く感じ。
オブジェを制作している



原田 博昭さん（本社展示場）

篠原メタル工房（水上町福
原）の原田博昭デザイン部
主任（49歳）は、この感じ
を「うるおい」と表現しま
す。

篠原メタル工房は、平成
17年5月に代表の篠原友行
さん（59歳）が鉄骨や製罐、
機械補修を行うため、瓦工
場だった場所を購入された
のが始まり。

「メタル工房という名称
は、鉄工所でも良かったと
思うのですが、篠原社長の
『鉄工だけでない、プラス
アルファの部分で、顔の見
えるお付き合いができるモ
ノづくりをしたい』という
想いがあったのでは」と原
田さん。

都会地やインターネット
等でまとめて売れることよ
り、実際に来て、作品を見
て頂いて、気に入ってもら
えることを大切にし、常に
購入される方がどんな気持
ちで作品を手取るのか想
像しながら作ると思います。
「社長も奥さんも骨董品

が好きなんです。人の気持
ちをいっぱい吸い込んだも
のが…」

二人の想いと作品を手掛
ける原田さんの想いが一致
しているからこそ、取り組
むことのできるモノづくり。

経営的には、決して一定
飛びに売上が伸びるわけ
はないかもしれませんが。半
歩ずつでも着実にという考
えです。

「釜屋」を出店されたの
は、建物の所有者が同窓会
で皆さんと一緒に水上町の
展示場へ足を運ばれたのが

きつかけだそうです。

作品を気にいつて頂いて、
是非、大森でも展示されて
はどうかということから話
が進みました。

このような「ご縁」が少
しずつ広がってきています。

出雲市多伎町にある「い
ちじく温泉」にも作品が展
示されています。また三瓶
自然館サヒメルでも12月か
ら2月まで作品の展示が決
まっています。

原田さん曰く「うるおい」
とは、昔は当たり前の風景
であった、めだかが泳ぐよ



石見銀山大森町並みにある「釜屋」



素朴な作りが山野草とよく似合う

原田さんの作品は、平成18年の第60回
記念二紀展で入選しました。

篠原メタル工房

島根県大田市水上町福原117
TEL 0854-89-0960
E-mail info@shinoharametal.jp
http://www.shinoharametal.jp/



釜屋 店内

うなやわらかさ。
皆さんご帰省される際は、
是非、立ち寄って頂いて
「うるおい」を感じてみら
れてはいかがでしょうか。